

さくら会*会報

ご挨拶

植草学園さくら会 会長 小林 鶴枝

会員の皆様には、お変わりなく益々ご清栄にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

植草学園さくら会は発足4年になりました。発足前1年間の準備期間を含めますと丸5年の活動になります。植草学園の各同窓会が歩みを進め、ようやく形が整ってきたように思います。総会及び活動報告等は、植草学園大学・短期大学のHPで閲覧することができます。母校の様子と併せて、活動の様子をご覧いただければ幸いに存じます。

さて、私たちは、植草学園で同じ建学の精神「誠実・努力・謙譲」を学んだ仲間同士です。私も学生時代に前々理事長・植草あう先生の肉声に触れて「建学の精神」を学び、娘も、今年度にご逝去されました前理事長・植草昭先生の温かな手の温もりと優しいお声かけに励まされ附

属高校・大学時代を過ごし、現在、社会人としてしっかりと歩んでいます。私だけでなく、親子(ご親族)共々感謝の気持ちでいっぱいの卒業生も、数多くおいでのことと存じます。

私は、母校・植草学園と卒業生は車の両輪であり、「お互いの活躍こそが相互の発展に繋がる」と信じています。今後は、新理事長・植草和典先生の元、ますます発展する植草学園に期待を寄せ、その思いを共有できる同窓会活動を考えていきたいと思っております。

最後になりましたが、会員の皆様の今後一層のご健勝とご活躍と同窓会の発展を心からお祈り申し上げご挨拶と致します。



ご挨拶

学校法人 植草学園 理事長 植草 和典

同窓会の皆様には、日頃から植草学園に対してご支援を頂き、深く感謝いたします。さくら会は、植草学園にある各同窓会の連合組織として4年前に発足し、小林鶴枝会長(初代)のもと協力体制ができあがってきました。今では、運営方法も安定し、毎年度の事業が順調に進められていることを嬉しく思っております。

毎年11月には大学と短期大学の学園祭(緑栄祭)において、さくら会の企画で大抽選会が行われ、その売上金の全額が学園の「植草学園教育研究振興資金」に寄付されております。この資金は、学園の各学校の教育施設の充実や、家計急変で修学が困難となった学生生徒の奨学金となっており学園の運営上重要な資金となっています。また、この資金へは、各会員の皆様からも多額の寄付金をお送りいただいており改めて御礼を申し上げます。

さて、昨年4月に前植草昭理事長が死去され、その後任として植草学園第四代目の理事長に就任しました。学

園の経営にあたっては、前理事長の方針を受け継ぎ、健全で安定したものとなるよう努めています。学園の将来を展望すれば、少子化が進み決して楽観した状況

にはありません。学園建学の精神である德育(こころの教育)を教育のより所とし、各学校が特色を顯示していくと共に、学園で学ぶ学生、生徒、園児が人として成長する教育活動を力強く推進していきます。また、地域との連携、貢献活動も積極的に行なうことを通して、植草学園が地域社会のなかで信頼され、地域の皆様から愛される学園となるよう努力したいと考えています。同窓会の皆様には、これからも学園の教育活動に対してご理解とご協力をお願い申し上げます。



故 植草昭 先生 ありがとうございました

前理事長 植草昭 先生が、平成25年4月6日にご逝去されました。
微笑まれたお顔のお写真から、今も「ありがとう」の言葉が聞こえてきます。私たち
同窓生は、先生からいただいたい沢山のお教えを胸に、忘れることなく、
後輩に伝えてまいりたいと存じます。

これまでのお導きに感謝し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。
植草昭先生 本当にありがとうございました。



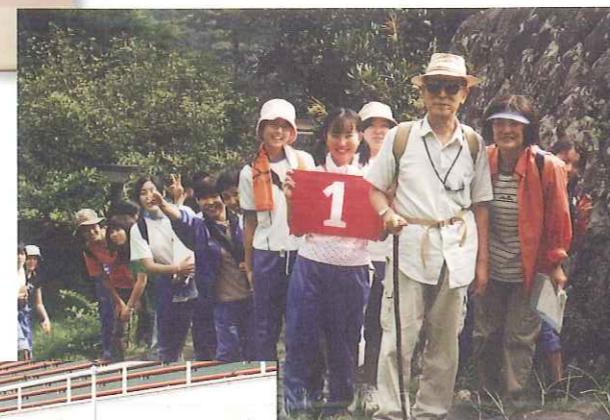
幼専 生理学授業風景



植草昭 前理事長



幼専 箱根登山



幼専 箱根登山



高校 マラソン大会



高校 修学旅行 台湾



大学開学・短大10周年・高校30周年記念式典



大学・短大 卒業証書・学位記授与式



2013年新年挨拶会



大学の学生と



保育園お誕生日会



2013年新年挨拶会

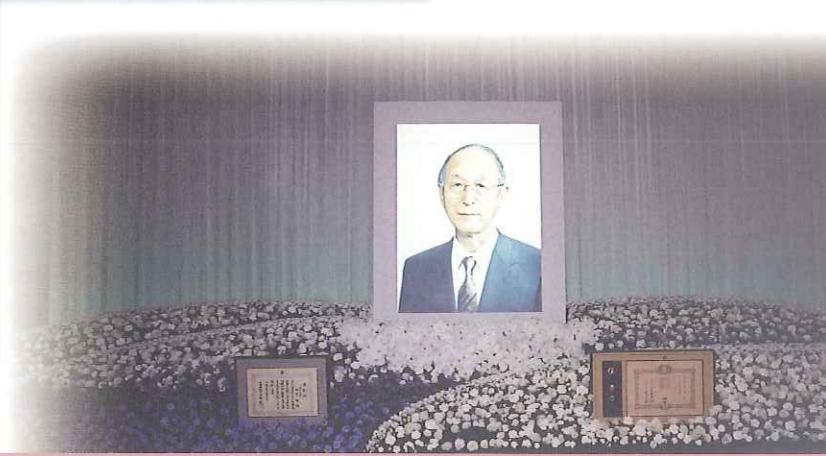


弁天キャンパスお別れ、お見送り



小倉キャンパスお別れ、お見送り

お別れの会 平成25年5月18日



植草学園大学

挨拶に代えて

植草学園大学 学長 小出 進



さくら会の皆様方には、ここ小倉町の大学・短大を、実家と思い、気楽に里帰りしていただけると、うれしく思います。

実家という表現については、前理事長先生は、「名言」とほめてくださいました。

短大ができる間もないころ、出勤すると、学生の皆さんに、「おはようございます」「雨が晴れて、よかつたですね」と、明るい挨拶をされました。

心が通う、すがすがしい挨拶をしてくださいました。

エレベーターにのると「先生は、お疲れのようですね」と、心の通う挨拶をしてくださいました。

テニスボールが、コート脇の木に引っかかってしまいました。前理事長先生が、生徒を制し、事務職の方に取ってもらおうとされました。心の通うやさしさを感じました。

前理事長先生のやさしさが、やさしさを生み、やさしさが広がります。前理事長先生がやさしさの原点となって、永遠に輝き続けることでしょう。

会長挨拶

植草学園大学同窓会 会長 西川 嘉人



皆様こんにちは、植草学園大学同窓会会長の西川嘉人です。大学の同窓会も発足より2年目となりました。3月には3期生も卒業を迎え、同窓会の活動も卒業生の数に併せてにぎやかになればと思います。

さて、今年度の活動は、2年目ともなると活動や方針に土台ができ始め、いろいろとスムーズになると予想してスタートしましたが、まだ模索中であり、しばらく慌ただしくなりそうです。活動についても同窓生の都合を考えて、昨年の12月より早い、緑栄祭中に変更してみましたが、準備や皆様への連絡等ご迷惑をおかけすることも多々ありました。そのような中でも、今年度は同窓生も役員も増えて多くの方に参加していただき、昨年よりにぎやかで楽しい一年になったことは間違ひありません。大学を卒業してからの時間は日に日に経っていますが、同じ植草で学んだ仲間と同窓会を通じていろいろ感じていただけたらと思います。

オープンキャンパス参加

7/27・8/17

今年度は2日間にわたり、オープンキャンパスに参加させていただきました。

7月の参加では桑田先生の紹介の下、学園での行事や大学生の思い出話をする機会もありました。話しながら「ついこの前私たちも一緒にやったなあ」という懐かしい気持ちになってしましましたが、それらが参加者の皆さんに伝わって、興味をもっていただけたなら嬉しいです。



また昨年度同様、同窓会で質問コーナーを設け、大学での生活や授業についての質問や疑問に答えました。昨年は女子生徒からの質問が多く、男子生徒は少なかったのですが、今年は男子生徒からの相談もあり、いろんな人が植草に興味をもってくれているのを感じました。質問内容も授業のことをはじめ、入試、進路、実習、サークル、一人暮らし、アルバイトなど、多岐に渡り、中にはKUSU-KUSUの食事のことを聞く食いしん坊な人もいました(笑)。

第二回 同窓会総会

5/11



5月の連休後の忙しい中お集まりいただきありがとうございました。これからどんどん卒業生が増えるので、しばらくは毎年活動を見直しながら企画、調整をしていく必要があります。なかなか人数が集まりませんが、新しい年度のスタートである総会でしっかりと活動を決めていくことで、今後も同窓生と学園をつないでいけるよう気を引き締めていきたいと思います。



「同窓会だから同窓生がたくさん来れる日に楽しいことをしたい!」ということで今年は緑栄祭2日目に活動を行いました。軽食・お菓子を用意し、同窓生の皆様に楽しい時間をすごしてもらうことを心がけました。最初は人数が少なく、入りづらい雰囲気もあったように感じましたが、bingoゲーム予定時間の前になると多くの同窓生が受付まで顔を出してくれるようになり、最終的にかなりの人数がいたように感じます。お忙しい中、時間を割いていただいた先生もいらっしゃり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

bingoゲームは皆様に楽しんでもらうため、bingoになつた人に風船を割ってもらい、中にある番号と同じ景品がもらえるというルールで行いました。「最初にbingoをしたのに狙っていたものじゃなかった…」「残り物には福があつた!」など最後までどうなるかわからない展開にみんなが期待を膨らませました。リーチになった人には前に出てきてもらいましたが、なかなかbingoが出ず、前にたくさんの人が立っていたのも面白かったです。最後に記念撮影もしました。また、来年も楽しい時間がすごせたらと思います。

参加者の言葉

当日参加していただいた方より感想をいただきました。
「緑栄祭と一緒にやってくれたので参加しやすかったです」
「植草サイコー!＼(^▽^)/ 加湿器ありがとうございました♪」
「友人に会えてよかったです」



緑栄祭～さくら会合同企画～

11/16

さくら会は緑栄祭1日目の16日に参加し、第3回合同企画「大抽選会」を開催しました。去年・一昨年とあいにくの雨だったため、今年こそはと皆が期待していた思いが通じたのか、天候に恵まれ非常に過ごしやすい晴天での決行となりました。抽選券

の販売についても、昨年の数を越え、用意した枚数全てを完売させることができ、非常によい結果となりました。学内外問わず様々な人が参加して、大いに盛り上りました。素敵な賞品をもらった卒業生もいたようです。



今年度は委員も増え、活動の幅も広がりました。「卒業生の集い」は委員のスケジュールが合わない中での連絡・準備等苦労しましたが、当日たくさんの卒業生が集い大成功できることは、大変励みになりました。
今後も卒業生・在校生共に交流し楽しめる新しいイベントを考えていきたいと思います。

植草学園さくら会会報編集委員 西川嘉人 小泉仁美

植草学園短期大学

同窓会会報に寄せて

植草学園短期大学 学長 中坪 晃一



短大開設15年目。卒業生を送り出すこと13回。短大同窓会も2,000名を超える大所帯となりました。大・短とも「障害者支援を学ぶことは、すべての支援の本質を学ぶことです。」(東京駅京葉線連絡通路看板に掲示)を合い言葉に、特色を全国に発信しています。

短大の入学者は、この特色に着目して入学した学生さんがほとんどです。開学以来、本学に志願した学生さんの出身地域は、大・短合わせて、北海道から沖縄まで38都道府県(平成20~25年間)に及びます。短大だけでも23都道府県です。特色が広範囲に伝わっています。とても嬉しく思っています。いずれ全都道府県からと夢も膨らみます。

今年も卒業生の皆さんに、たくさんのご協力をいただきました。在学生対象の「職場を語る会」、入学希望者対象の「相談活動」、緑栄祭の「大抽選会」等々です。加えて、介護や保育・教育・福祉施設の実習で、幼稚教育専門学校の大先輩の方々も含め、さりげなくしかし心のこもった支えもいただいております。折り折りに顔を出してくださる皆さんの姿に、たくさんの元気もいただきます。ありがとうございます。感謝申し上げます。皆さんの支えをバネにして、特色を軸に「植草ブランド」を高めていきます。ますますのご健勝、ご活躍を。

会長挨拶

植草学園短期大学同窓会 会長 金久保 利一

会員の皆様方いかがお過ごしでしょうか。

昨年4月6日に御逝去なされた前理事長 植草昭先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

思えば昭先生のご尽力のお陰で植草学園短期大学が設立され、自分は本学で福祉を学ぶことができ、また初めてのキャンパスライフを経験することもできましたので、大変感謝致しております。

昨年度は、「何十年に一度の酷暑」「何十年に一度の豪雨」という言葉が飛び交い、各地に甚大な被害を及ぼしましたが、皆様方におかれましてはいかがでしたか。そのような大変な時こそ植草学園で培った福祉の気持ちをもって、周囲の方々と協力し合って乗り切っていただきたいと思います。同窓会も協力を惜しませんので、何かありましたらご連絡ください。

最後に昨年は私的な事で、皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。その間支えていただいた役員の方々、さくら会の方々、そして先生方にこの場をお借りして、お礼申し上げます。



平成25年5月18日

第13回 同窓会総会

本年度の植草学園短期大学同窓会総会は5月18日(土)に開催されました。当日は前理事長 植草昭先生の「お別れの会」が行われたため、ほぼ役員だけでの開催となりました。総会では、平成24年度の活動報告と決算報告に続き、平成25年度活動計画案と予算案が採択されました。残念ながら、毎年総会への会員の参加者が少ないので現状です。お友達とお説明合わせのうえ短大に来て、懐かしい先生方にお逢いしたついでに、総会にお顔を出していただきたいと思っております。



平成25年8月17日

オープンキャンパス

8月17日(土)にオープンキャンパスが行われました。今も卒業生による相談コーナーが設置され、今後入学したいと考えている学生たちが相談に来ました。入試についてや通学、学園生活に対しての質問を多く受けました。また、学生たちの質問から保育や介護に携わろうとする熱意も聞くことができ、今後入学される学生が楽しみとなりました。ぜひ、植草学園に入学していただきたいです。



緑栄祭

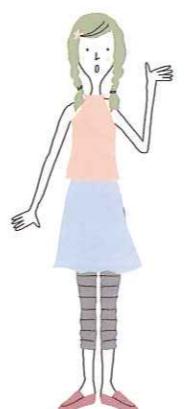
平成25年
11月16・17日

3年ぶりに快晴となり、多くのお客様にお越しいただきました。今年もさくら会の合同企画で大抽選会が行われ、なんと皆様のおかげで抽選券800枚すべてが完売しました。景品も年々豪華になり、これを楽しみに来場くださるお客様も増えてきました。売上金は植草学園に全額寄付致しました。皆様、ご協力ありがとうございました。



同窓生通信

第10期生 田邊 美和さん(地域介護福祉専攻)



私は今の職場に入社して4年目になります。仕事は楽しい事ばかりではありません。利用者の大半は家の事情などで自宅復帰できません。そんな中ある利用者が「ここは現代版の姥捨山だね」と笑いながら言いました。きっと本当はすごく辛いと思うのに、笑って言っている姿がとても切なく思いました。また中には看取りケアの方もいます。元気だった頃を知っていると、どんどん弱って瘦せて小さくなっていく姿はとても切ないです。

一番やりがいを感じるのは、利用者に笑顔で「ありがとう」と言ってもらったり、「昨日はお休みで寂しかった」と言ってもらえた時です。むしろ、利用者の笑顔で私が元気をもらっています。

これからも、たくさんの利用者の笑顔を見ることが出来るように頑張っていきたいと思います。

平成25年度被災地ボランティア活動報告 「いわき市の障害者施設における活動」

8月28日(水)～30日(金)、大学・短大生44名と理事長・教員4名が、福島県いわき市の障害者施設「東洋学園」にてボランティア活動を行ってきました。現在、避難されている利用者の方々とは、2011年千葉県立鴨川青年の家に集団避難されていた際にも支援物資や古着等をお届けし、レクリエーションなどで交流をしました。今回も昨年の相馬市障害者施設におけるボランティア活動に引き続き、施設内の清掃活動やレクリエーション・ダンスの披露などを行い、さらに交流が深まりました。



相談支援センター 「第3回運動会」

10月19日に「第3回運動会」が実施され、万国旗が揺れるEスタジオにおいて親子18組(0歳児～3歳児:23名)が参加されました。会場内は、一体となって親子さんを温かく応援し、笑顔が溢れる楽しいひと時を過ごしていただきました。



同窓会の皆様が懐かしさを感じられるような会報をお届けできるよう、同窓会役員一同で話し合いながら、今まで製作を続けて参りました。今後も同窓会での活動を通して、皆様と一緒に意見を交えながら、より良い同窓会作りを目指していきたいと思います。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

植草学園さくら会会報編集委員 坂下紀子・池上清美

「地域清掃活動」

本学では平成23年度より、2月に全学的に学内、地域の清掃活動を行っています。今年度からは前期にも地域清掃活動を行い、環境美化の姿勢を培っています。こうして植草幼稚教育専門学校から清掃に取り組む伝統を引き継いでいます。

植草学園大学附属高等学校

会長挨拶

植草学園大学附属高等学校同窓会 会長 信田 一美



植草完校長先生と
信田一美同窓会会長

同窓会会員の皆様、お元気でしょうか?

32回目を迎える同窓会を、10月19日土曜日 麗峰祭の中で開催することができました。同窓会開催におきましては、同窓会会員の皆様を始め、学園関係の皆様方に多くのご協力をいただきました。大変ありがとうございました。

同窓会にご参加いただきました皆様、今回は人数が少ない状況でしたが楽しんでいただけたでしょうか?

私としては、懐かしい顔が集まり、久々にお会いする同窓生の皆さん元気であったことが非常にうれしかったです。

同窓会総会は、植草 完校長にご挨拶をいただき、事業報告から平成25年度事業計画などを報告し、参加いただいた皆様から多くのご意見をいただきました。いただきましたご意見には、今後の同窓会の在り方など貴重なご意見もあり、学校側も含めまして今後検討させていただきたいと考えております。

母校で教育実習

櫻井久美さん 平成21年度卒業

平成21年度卒業生、櫻井久美さん(東京女子体育大学在学中)が9月2日から9月21日まで3週間体育科で教育実習を行いました。高校生のころはソフトテニス部で活躍し、3年次櫻間右多先生の学級では委員長を務めリーダーシップを発揮してきました。今回の教育実習ではちょっと緊張気味でしたが、とても有意義に過ごされたことを学んだ様子でした。

櫻井久美先生から一言 初めて授業したときは、頭が真っ白になって、約1時間の授業がいつのまにか終わっていました。「教師」という仕事の難しさを身をもって感じ、知識を人に与える事は、自らが知識を得る事の何倍も何千倍も難しい事に気づきました。でも、それ以上に「出来た」時の生徒の満足げな顔は、本当に私の心に焼き付いています。

生徒たちには、楽しいこと、辛いこと、沢山経験させて頂きました。全てがかけがえのない宝物です。

学生時代も実習も田村先生に導かれ、私の人生の1歩を必ず後押ししてくれる先生に感謝しています。

教師になって、自信をもって子供達の前に出れるように、頑張ります。私の3週間は夢への第1歩になりました。ありがとうございました。

3年次担任櫻間右多先生と



実習中の櫻井先生

僕たちも後輩です!

2013年度からいよいよ一部共学化がスタートしました! 今年は3人の男子生徒が入学しました。女子校の歴史が長く、全校で3人という… さぞや肩身の狭い思いをしているのかと思いきや案外とエンジョイしているようで、「学校どう?」との問い合わせに「楽しいです!」と答えてくれたのでした。



植草学園大学附属高等学校の三銃士(左:大庭太郎くん(1年 特進コース) 中央:根本大地くん(1年 英語科) 右:芦田紘佑くん(1年 特進コース))

昭先生と海外修学旅行のこと

植草学園大学附属高等学校 校長 植草 完



前号が皆様のお手元に届いた頃ではなかったかと思いますが、昨年の四月六日に前理事長・前校長植草昭先生がお亡くなりになり、五月十八日、お別れの会がしめやかに執り行われ、多くの皆様に別れを惜しんでいただきましたことをご報告いたしますとともに御礼を申し上げます。

ここで昭先生について少しご紹介させていただきます。先生は昭和二年四月十五日にお生まれになり、お父様が歯科医師をされていましたので、東京医学歯学専門学校(後の国立東京医科歯科大学)に進まれ、歯科医師となりました。その後、母でもあった当時の理事長植草こう先生から、学園の後継者として教育界への転身を強く求められ、かなり悩んだ末決心したことであります。この時、大学の恩師は大変惜しみ、しかしその将来に期待し、「医は仁にして教育は聖なり」の言葉をもって送り出してくださったのです。(植草範子著「ひとすじの道をたどる」五十九ページ)

10月19日(土曜日)麗峰祭2日目、一般公開日に同窓会総会と親睦会が行われました。

今年は参加人数が少なくてちょっと寂しかったです。多くの卒業生に参加していただいて楽しんでいたら良いですかね? みなさまご意見ございましたらぜひお寄せください。



25年度 第32回 同窓会総会



恒例の全員で一枚



会長さんと
仲間たち



前日から会場設営をしてください、当日も皆さんをお迎えするために早くからいらしていただきました。



植草学園大学附属高等学校
左から酒井和男教頭先生、根本薰雄教頭先生



親子で同窓生



平成25年度3年生組卒業の赤松幸紀さんは3年間バレー部で活躍してきました。なんと植草学園大学附属高等学校のバレー部を発足させたメンバーの一人が赤松幸紀さんのお母さん!自分が創った部活で娘が活躍する姿を応援するのはとても嬉しいこと。幸紀さんが辛い時いつも励ましてくれるお母さん、バレー部に関して一番の味方でいてくださるそうです。ちなみにお母さんの旧姓は「石川」。卒業年次は…ナイショ

赤ちゃんが生まれました!



お母さんの石澤紗央里さん(現任育休中)
2013年4月18日生まれ



編集委員より

2013年度、私たちの後輩: 植草学園大学附属高等学校の生徒は大活躍でした! 多くの部活動が全国大会に出場し、ボランティア活動も盛んです。大学との連携もますます強くなっています。しかし、そうなってくると資金がちょっとつきづけて来ています。また毎年恒例の麗峰祭での同窓会総会ですが皆さんに気軽に寄っていただるために[同窓会カフ]なんて企画してみたいと思います。懐かしい先生方や友人との語らいの場にしているだけのいいのですが。2014年麗峰祭の日程は10/4(土)の予定です。決定次第ホームページでお知らせします。こちらもぜひアクセスしてくださいね。

植草学園さくら会会報編集委員長 木村昌代 編集委員 竹村美紀・石澤紗央里

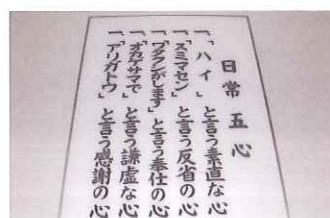
植草幼稚教育専門学校

会長挨拶

植草幼稚教育専門学校同窓会 会長 石川 明子



左 副会長小向さん
右 同 小笠原さん



恩師の窓

加藤 ヤツヨ先生 「千葉を離れて」

川崎に戻りはや5年余り、「ファイト!!」の掛け声も何時しか遠ざかりつつあります。同窓生の皆さんお元気で活躍のことと存じます。

さて私もあれ以来歩むべき道を捜し保育に再挑戦しました。しかし年齢に阻まれ、「元気であれば」という偉い方の言葉がまるで嘘の壁に囲まれている現状に驚きました。役所にも足を運んだり広告を出したりしても不発に終わりました。どうしても野望を捨てきれず自宅を開設し「乳幼児ハウス」を開設!!子どもたち相手に自分流の幼児教育に力(心)を注いでいます。

現職の時に「保育園か幼稚園を作つてよ」と数々の学生の声に当時はどんな答えを返していたのでしょうか。「うんうん!!よしよし!!お金がないとね!」だったかな。皆さんからたくさんのパワーを頂き見えない広い保育の道筋を得ました。「素話」「ウォーカリー」のまとめもまだ宿題として保管しております。



次に当ハウスの基本理念に少し触れます。

①豊かな自然との触れ合いから観察力、表現力へと繋げる。②子どもの言葉と遊びを大切にして心の成長の手助けをする。③子どものなぜ?どうしてだろう?の発見から科学的思考の芽生えを育てる。

幼児は時間預かりまたは、一日預かりのためその子に応じた活動内容で自由遊びから絵描きなどが活動内容です。このような毎日の生活のなかで生まれた姿やつぶやきを文章化しています。いわゆる発想力、創造力の原点となる素地作りの一端で子どもの瞬間の言葉を見逃さず捉える、把握する姿勢を大切にしています。

乳幼児との関わりでは表情や動きに留意し言葉と音声、振りで出鶴目な歌になりますが、内面への響きこそ何よりの薬であることを実体験しました。日々成長していく乳幼児の笑顔と仕草に包まれ最高の幸せを頂いています。

限りなく深い乳幼児保育の尊さを体験しながら保育の「お・も・て・な・し」についても今後探究し全力で体当たりする予定です。

《教員免許更新について》

免許状更新講習規則が一部改正され、平成25年8月より幼稚園教諭免許状を保有し認可保育所や、認定こども園に勤務している保育士も免許状更新講習の受講対象者となりましたので、お知らせします。

受講対象者の誕生日	最初の修了確認期限	免許状更新講習受講期間及び更新講習修了確認申請期間
昭和34年4月2日～昭和35年4月1日	平成27年3月31日	平成25年2月1日～平成27年1月31日
昭和44年4月2日～昭和45年4月1日		
昭和54年4月2日～昭和55年4月1日		
昭和35年4月2日～昭和36年4月1日	平成28年3月31日	平成26年2月1日～平成28年1月31日
昭和45年4月2日～昭和46年4月1日		
昭和55年4月2日～昭和56年4月1日		

尚、講習終了後、免許管理所(住所地の都道府県教育委員会)に届け出が必要となります。詳しくは文部科学省のホームページをご覧ください。

《保育士の登録変更》

保育士登録はもうお済みですか。児童福祉法の改正後(平成15年11月～)保育士となる資格を証明する書類(保育士(保母)資格証明書、指定保育士養成施設卒業証明書、保育士試験合格通知書等)だけ持っていても、「保育士」として働くことができなくなりました。「保育士」として働くには、その業務に就く前に、都道府県知事に対し登録申請手続きを行い、保育士証の交付を受ける必要があります。(登録事務センターのホームページより)
詳しくは保育士登録事務処理センターのホームページをご覧ください。

25年度第40回同窓会

平成25年11月16日(土)『第40回 同窓会(総会・懇親会)が行われました』

今年はよく晴れた気持ちの良い青空での開催となりました。机の配置を例年と少し変えたことで、1期の先輩から35期最後の卒業生までが交流を深め、お世話をなった先生方と共に楽しい時間を過ごすことができました。参加してくださる先生方や同窓生の皆さまの素敵な笑顔がとても印象的でした。

今年もありがとうございました。これからも皆さまのご参加お待ちしています。



参加してくださった皆さま、ありがとうございました!

おもいで
箱根研修旅行編



箱根研修旅行

少しつことだか思いだしてごらん あんなこと、こんなことあったでしょう♪
○年前!? ○○年前! ? 楽しかった学校の思い出…。



キャンバスでは見られない表情!
植草パワーで頑張れ!!



感動的なキャンプファイヤー!!
園児とペアになり楽しみました。



先生方大集合!お世話をなった学生時代を思い出します。

寄付の ご報告と お願い

平成25年12月現在でご寄付いただきました合計金額は60,000円です。
ここに寄付された皆様のご芳名を記載いたします。

ご寄付いただいた皆様

2期 … 篠塚 正江さん	3期 … 早野 圭子さん	3期 … 三浦 幸江さん	4期 … 牧 祐子さん
5期 … 木村 恵子さん	5期 … 小室 京子さん	7期 … 桜島 千春さん	10期 … 高橋 洋子さん
10期 … 生駒美智代さん	11期 … 桐山 明美さん	14期 … 鵜澤伊美子さん	14期 … 宇井 周子さん
17期 … 森 直美さん	21期 … 下田 和代さん	24期 … 高木 祐子さん	25期 … 木内 涼子さん
25期 … 佐藤 幸恵さん	27期 … 小池 和江さん	28期 … 伊藤 真理さん	29期 … 岩澤 和恵さん
匿名1名			

幼専同窓会は、卒業時に納入していただいた終身会費を元に運営していましたが、卒業生がいなくなった今、収入源がなくなり貯金を切り崩して活動を行っております。また、平成22年度から幼専単独の活動だけでなく、植草学園さくら会(連合同窓会)の運営費も必要となりました。これらの同窓会存続・発展のために、幼専同窓生の皆様に寄付金のご協力をお願いいたします。なお、ご寄付いただいた方のご芳名は次号の会報に掲載いたします。なお芳名の記載を希望されない方は、その旨を振り込み用紙の通信欄にお書きください。

一口: 1,000 円 (何口でも結構です)

郵便振替口座にてお振込みください。

口座記入番号: 00270-9-140638

加入者名: 植草幼稚教育専門学校同窓会

ご依頼人: 会員の方の住所、○期、○組、氏名、電話番号をご記入ください。

通信欄: 寄付金の口数を明記(例: 寄付金3口)してください。



私たち同窓会の存続・発展のため、活動を進めておりましたが、少しでも継続するためには役員だけではなく、同窓生の皆様と共に団結することが重要です。ぜひ皆様のお力を貸してください。そして心のふるさとである私たちの幼専同窓会をぜひ存続させましょう!ご協力宜しくお願い致します。

植草学園さくら会会報編集副委員長 鈴木香菜 編集委員 山下麻子、小林亜紀子、石川明子

植草文化服装専門学校、 植草家政高等専修学校同窓生より

植草文化服装専門学校 元教頭 早川 武子

前理事長植草昭先生が去る平成25年4月6日に永眠されました。5月18日にお別れの会がしめやかに執り行われて、多くの皆様にお別れと故人の遺徳を偲んでいただきました。先生は昭和2年4月15日にお生まれになり、お父君が歯科医師をされていましたので、「東京医学歯学専門学校」後の「国立東京医科大学」に進まれ、歯科医師となりました。その後、ご母堂にあたる理事長植草よう先生から学園の後継者として、教育界への転身を強く求められ、その件についてかなり悩んだ末、大学の恩師を訪ね相談され大分悩まれた結果、教育界への転身を決意されたのであります。

その後、千葉市立第二中学校(現末広中学校)で教員としてスタートし、後に植草文化服装学院で女子教育、服飾教育の道に進みました。その後、いろいろの勉強をされ特に製作実習では、自ら人台を作り立体裁断用として約五百体各自に指導製作し成果をあげました。又自動車部の部活指導や東北、北海道での校外学習など種々新しい企画を立ち上げる等々活躍されました。

幼稚教育専門学校では生理学を教え、その後、幼稚園、高校を開校しました。普段から教育熱心で特に一人一人の生徒を愛して、近年の闘病生活中の中でも時間があると学校に出でになりました。さらに植草よう先生のご遺志を継いで短大

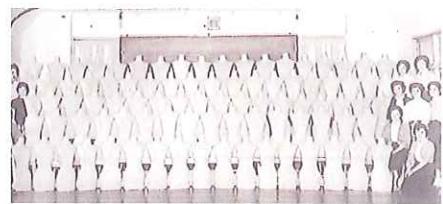
を開學し平成20年には植草学園大学を開學しました。生涯現役を貫き最後まで学園発展のために尽力されました。

※植草昭先生は平成17年に旭日小綬章を受章され、この度従五位叙位されました。

植草学園としては、本年3月31日理事長を退職され4月1日より名誉理事長となられており、新理事長に植草和典先生が就任しております。



◀スタン製作
(下は完成した500体
近いスタン)
左端 植草昭先生



→スタン製作。苦労のかいあり、みんなの喜びは大変なもの。500体近いスタンの配列美はどうですか。並べた後、涙さえ浮かべたほどだった。

植草文化服装専門学校 服飾デザイン科卒業生 片岡 美雪

厳しくも温かく見守りご指導頂きました。よう先生、昭先生始め先生方には心から感謝致しております。

今、思い出せば…自分はカリキュラム以上の事をやりたがる、ちょっとみ出たメントクサイ生徒でありました。2年に一度の校内のファッショントークが無い年にカンパを集め強行に開催したり、卒業アルバムが、当時ありませんでしたから自分達で企画制作したり…そんな学生生活で皆に支えられ作品制作した、セントラルプラザ『ファッショントークコンテスト』は、2年連続で入賞でき、大きな自信となりました。

植草学園を卒業後、更に新宿の文化服装専門学校に編入試験まで受けデザインを学びました。そんな自

分は今、芸能プロダクション、サラ・プロジェクトを営み早20年です。デザインを学んだことで、タレントの衣装デザインや自社の宣伝グラフィックデザインに至るまで自身で出来ることは強みです。人生の扉を自ら抉り開けていく楽しさと大切さを学ばせて頂きました。この貴重な経験は一生の財産です。



サラ・プロジェクト所属のタレント



前列中央 片岡美雪さん

平成25年度 植草学園さくら会役員

- 顧問 植草和典 植草完 小出進 中坪晃一 植草範子
- 会長 小林鶴枝
- 副会長 石川明子 信田一美 金久保利一 西川嘉人
- 監事 岡田泰子 出木麻子
- 理事 齊藤京子 早川佐知子 松本珠代 鈴木朱美 小笠原晴代
竹村美紀 岡田眞貴子 坂下紀子 宮内美佳 鏡味智
木下裕美子 小泉仁美
- 合同企画委員長 小菅秀美 小向繪美
- 会報編集委員長 木村昌代
- ホームページ委員長 石川弘幸 ●代議員 各校より計20名
- 大・短同窓会協力委員会 井口ひとみ 黒田静江 遠藤隆志 多田昌代 佐藤将朗 阿部勉
- 高校協力員 根本薰雄 ●学園事務局長 手塚千俊 ●事務局 キャリア支援課

植草学園さくら会ホームページ

植草学園大学、植草学園短期大学のホームページメニューから、「植草学園さくら会(連合同窓会)」をクリックし、植草学園同窓会のホームページにお入りください。

URL <http://www.uekusa.ac.jp/>